



2020年3月期 決算説明会

2020年5月18日

住友ベークライト株式会社
代表取締役社長 藤原 一彦

2020年3月期（2019年度） 決算の概要

2020年3月期 通期業績 (前年同期比)

【IFRS】

[金額単位：億円]

	2019年3月期 実績①	2020年3月期 実績②	前年同期比較	
			金額 (②-①)	増減率
売上収益	2,130	2,066	-63	-3.0%
事業利益	173	143	-30	-17.0%
営業利益	136	103	-33	-24.3%
当期利益	151	90	-61	-40.4%

(新型コロナウイルス影響 売上収益▲17 事業利益▲7)

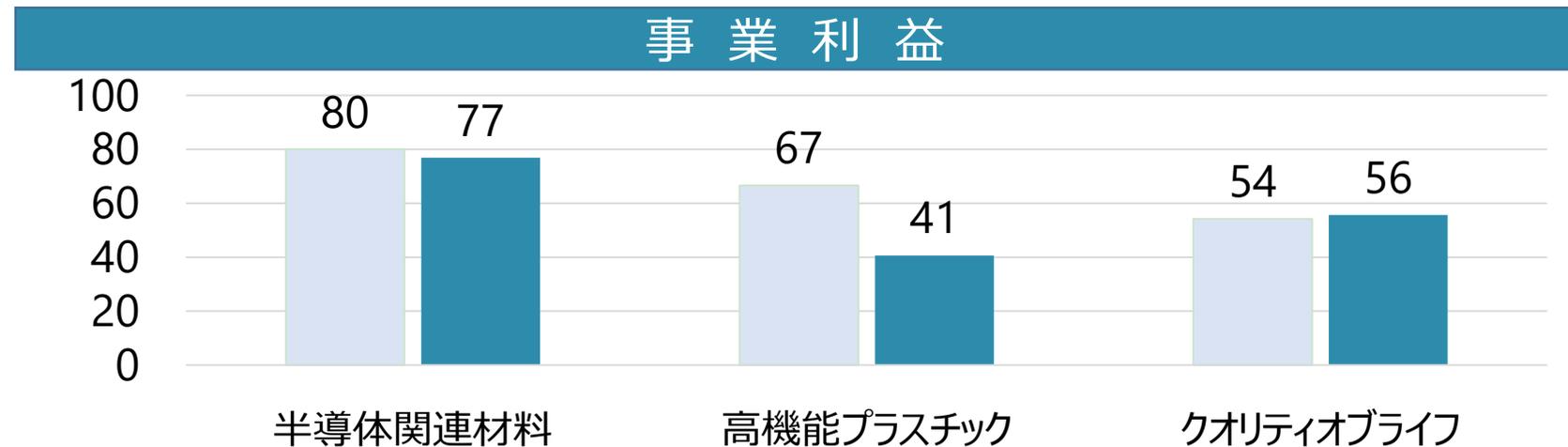
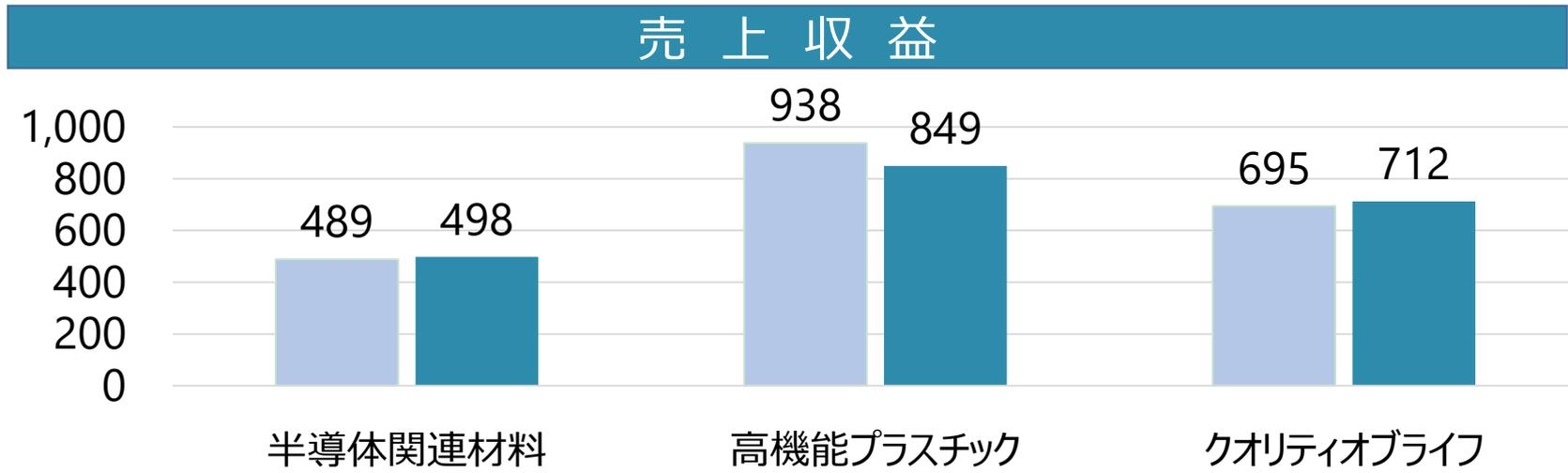
為替レート

USD (\$/¥)	110.69	109.10	-	-
EUR (€/¥)	128.43	121.14	-	-

※「事業利益」は「売上収益」から「売上原価」、「販管費及び一般管理費」を控除したベース
「当期利益」は親会社所有者に帰属する当期利益

事業セグメント別業績比較 (前年同期比)

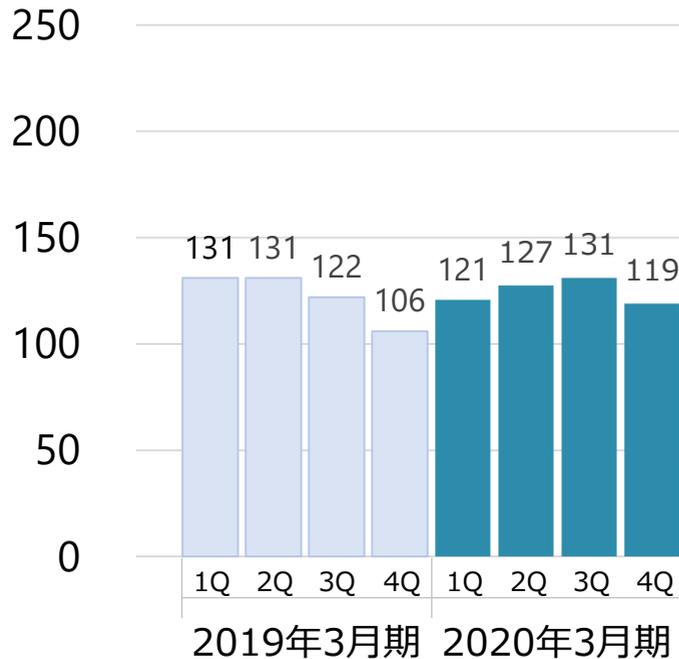
[金額単位：億円]



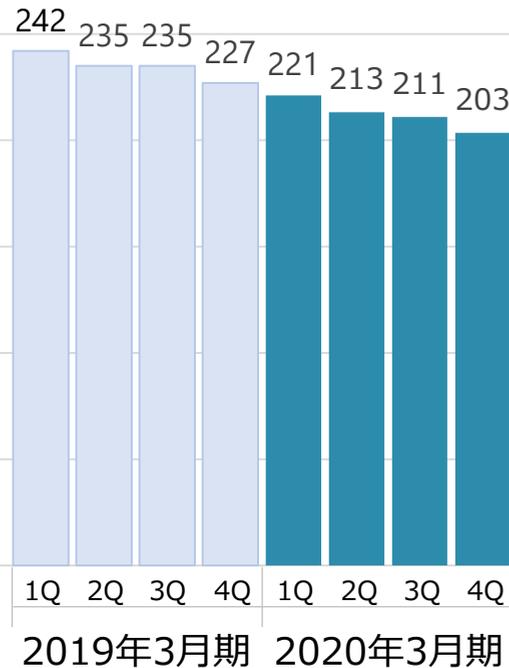
■ 2019年3月期 ■ 2020年3月期

事業セグメント別 四半期販売推移

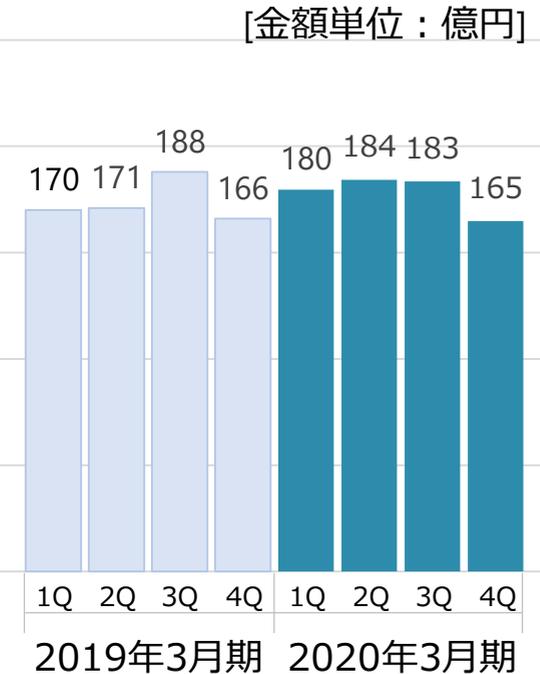
半導体関連材料



高機能プラスチック



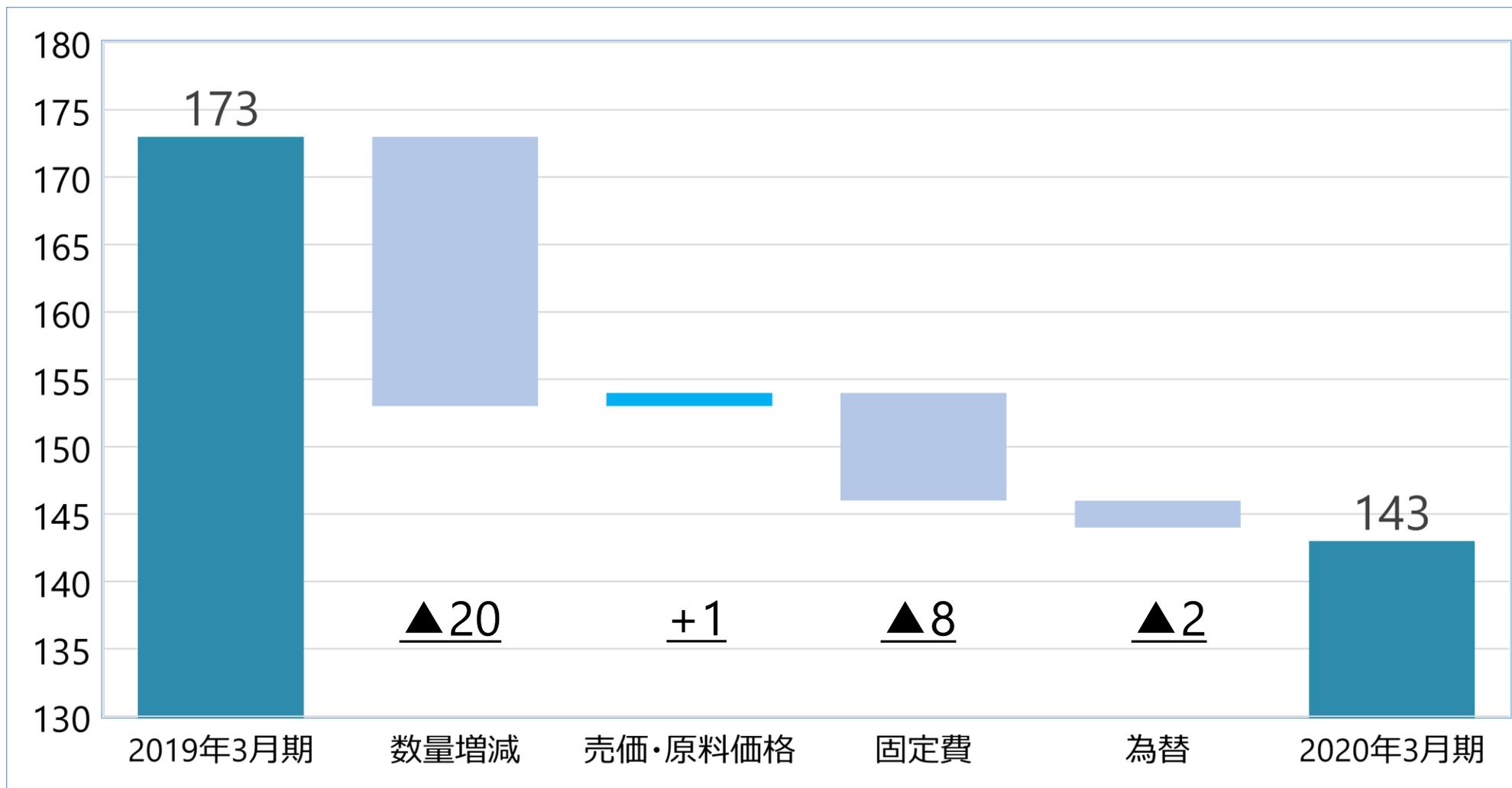
クオリティ オブ ライフ



- 半導体関連材料 封止材は3Qまで緩やかに回復傾向にあったが、4Qで中国市場向けが新型コロナウイルスの影響で減速。モーター固定用等新用途は着実に増加。
- 高機能プラスチック 自動車用途の下落に歯止めがかからず。航空機用も主要顧客向けの不振続く。
- クオリティオブライフ フィルム・シートを中心に3Qまで堅調に推移も、4Qに入り産業機能性材料(プレート)、ヘルスケア、フィルム・シートそれぞれ調整に入り減少。

事業利益増減要因 (前年同期比)

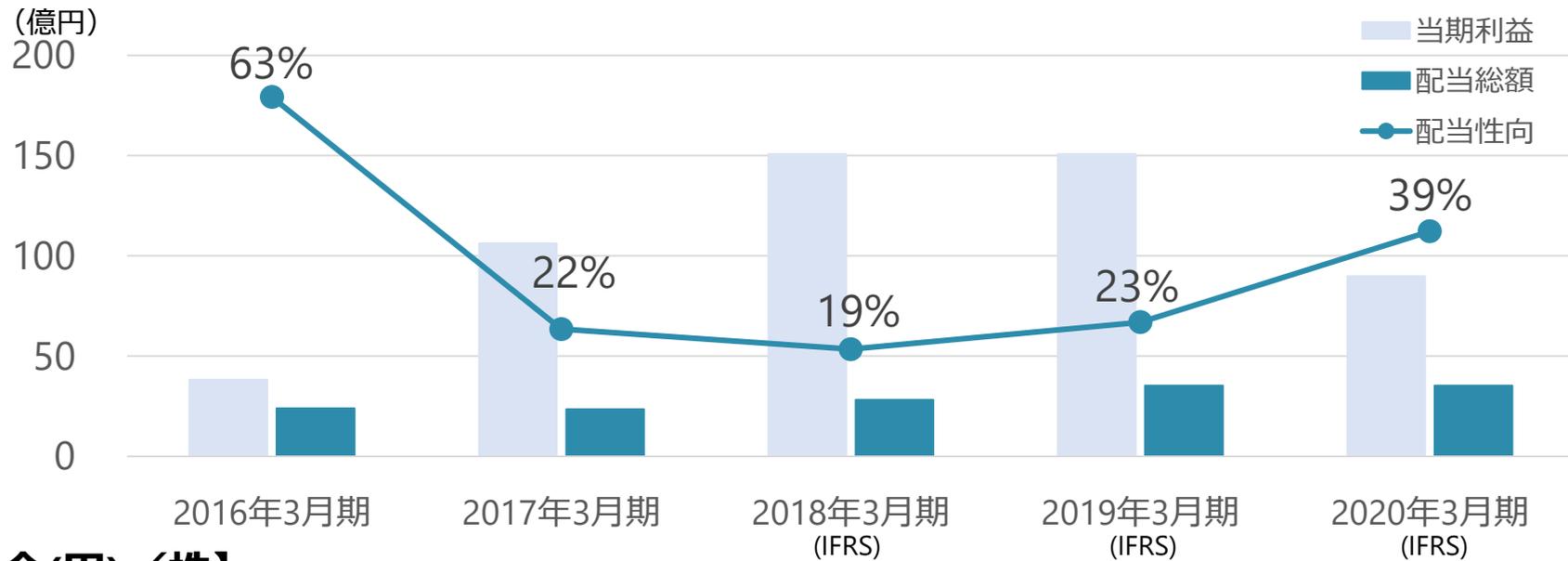
[金額単位：億円]



配 当

■ 配当金額 : 75円 / 1株 (中間45円・期末30円)

■ 配当方針 : 安定的・継続的配当、配当性向30%目安



【配当金(円) / 株】

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
中間配当	5.00	5.00	6.00	37.50	45.00
期末配当	5.00	5.00	6.00	37.50	30.00
年間配当	10.00	10.00	12.00	75.00	75.00

※2018年10月に株式併合(5株 ⇒ 1株)を実施したが、2019年3月期は併合後ベースで表記。

2021年3月期（2020年度） 重点施策

当社を取り巻く事業環境

社会情勢

- ・新型コロナウイルスの終息状況不透明。すでに「自粛」により関連需要が減退しており、今後も消費マインド停滞など、先行き不透明な状況が続く

原料価格動向

- ・原油価格は世界的な外出制限により燃料需要が大幅減、かつてない低価格に落ち込む。減産を行うものの、各国とも景気低迷で需要が強まる兆しがなく、石化原料も低水準で推移する見通し。

エレクトロニクス

- ・テレワークの推進に伴い、ICTインフラや関連機材の需要は高まっている。また2020年半ばより5G関連の需要が高まると予想されている。一方、自動車やロボット向けは需要が弱いなど、用途別に偏りあり。

自動車

- ・これまでの停滞に加え、新型コロナウイルスによる景気冷え込みで自動車需要は大幅に落ち込んでおり、生産にも大きな影響を与えている。各国とも需要を喚起する政策が行われる見通し。

住宅(国内)

- ・新設住宅着工戸数は、住宅ローン減税獲得のための条件が緩和される可能性があるものの、貸家、持ち家ともに依然として低調に推移。

COVID-19(新型コロナウイルス)の影響と当社の対応

■ 事業におけるリスクと当社の対応結果および事例

2020年5月15日現在

事業におけるリスク	対応結果および【事例】
従業員の罹患	感染対策の徹底、在宅勤務推奨（生産部門除く）
原材料の調達	B C P 対策として、適正在庫の確保、調達の複数ソース化進めており、大きな混乱無し
稼働停止命令	B C P 対策として、国内外事業所での生産体制の二重化を進めてきた
国境の閉鎖	【マレーシアの国境閉鎖に伴い、同国からのシンガポール工場従業員はホテルから出社対応】
物流の停滞	航空便の減便で影響あるも大きな混乱無し

■ これから起こりうる社会の変化と当社の対応

社会の変化	当社の対応
感染防止意識の向上	医療用フェイスシールドの生産開始
遠隔サービス（5G）進展	最先端半導体用関連材料（封止材等）需要増への対応
新薬開発に対する期待の高まり	創薬支援の分析キットや医薬品包装シート事業の強化
食品のロングライフ化ニーズ進展	鮮度保持フィルムおよび食品用多層バリアシート事業の強化



医療用フェイスシールド

基本方針および基本戦略

基本方針

SDGsに則した“**One Sumibe**”活動の実践により、機能性化学分野での「**ニッチ&トップシェア**」の実現とともに、事業規模の拡大を図る。

SDGsを重点領域を核に推進



■ SDGs貢献製品売上比率
2019年度 24% ▶ 2021年度 30%

SDGs貢献領域(5+1)



One Sumibe活動をWWに展開

- お客様に全社横断的価値の提供
- お客様の潜在ニーズと事業機会の創出



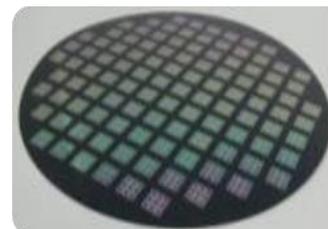
基本戦略

- 競争優位性のある新製品の開発、早期戦力化
- 既存製品の収益力強化、領域(用途・地域)拡大
- 成長領域における積極的な戦略投資(M&A等)

封止材の競争優位性拡大

■ 高集積デバイス領域の事業拡大

- ▼ 高集積デバイス用先端材料の拡大
(MUF、顆粒、感光性再配線材料)
- ▼ 5G、IoT対応材料の展開
(低誘電材料、高熱伝導材料等)



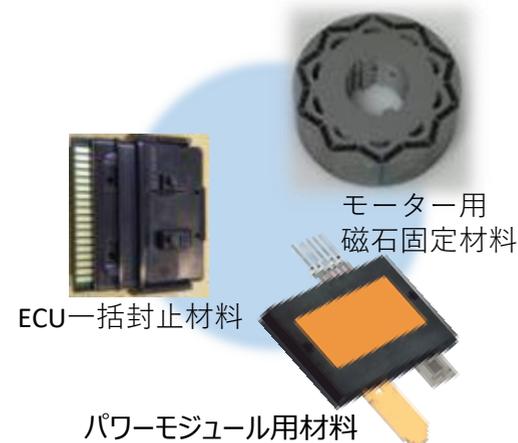
半導体封止材 WWシェア 40%(2021年)へ

封止材:戦略3用途使用例

■ モビリティ領域の戦略3用途製品の拡大推進

- ▼ ECU一括封止材料：基板保護技術
- ▼ 磁石固定用材料：ローター狭小部埋込性
- ▼ パワーモジュール用材料：高耐熱性、高絶縁性

2025年：120億円販売へ



■ 次世代電動アクスル市場開発推進プロジェクトチーム設置(2020年1月)

- ▼ 樹脂化電動アクスルを社内で試作 & 顧客視点データ提供で拡販上積み

次代を見据え、成長領域で生産拡大

■ モビリティー分野のさらなる成長へ欧州現地生産決定

▼ベルギー生産会社内に封止材新ライン導入

（稼働開始）2022年

（生産能力）数千トン／年



ヴァインコロリット社（ベルギー・ゲント市）

▼モビリティー材料に特化した処方開発（常温保管等）

■ 中国蘇州生産会社の能力増強

▼5G基地局や端末向け需要旺盛

▼現地生産体制整備、シェア拡大

2021年に生産能力20%アップ



■ CS最優先の取組みをレベルアップ

▼国内外オープンラボの更なる充実による顧客対応力の強化

▼「ゼロディフェクト」対応により、品質優位性を継続的にレベルアップ

短期的な業績回復策実行と成長領域開拓を促進

直近の市場環境

自動車 

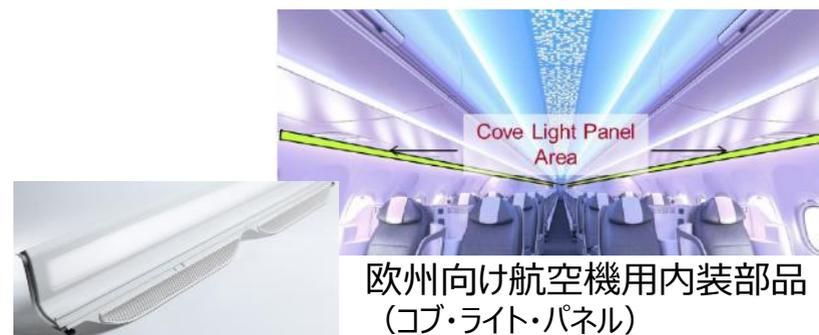
航空機 

エネルギー 

回復は早くとも
今年度後半以降

■ 販売数量に応じた「身の文化」の実施

- ▼ 欧米を中心とした固定費削減
- ▼ 航空機事業のビジネスモデル再構築
(欧州、中国向け市場を加えたポートフォリオに)



■ “強み”を生かし、回復期に成長路線へ

- ▼ レジン(樹脂)・成形材料・精密成形品まで一貫開発
- ▼ 日本・中国・アジア・北米・欧州のグローバル生産・供給体制

世界戦略製品：タイヤ用レジン、摩擦材用レジン、ブレーキピストン

地域優位製品：アジア：感光材、コイル材、放熱材

北米：シェール材料、コート材

欧州：自動車用材料、フォーム材

▶ 他地域へ
横展開



高機能プラスチック（新市場創出）

成長領域への新展開

■ 自動車向け材料・成形品の新市場創出

▼ 精密金属部品の置き換え（新製品：高寸法精度材料“SiON™”）
⇒ 自動運転に対応した電動パワーステリング用ギアプーリー向け



SiON顕微鏡写真とギアプーリー

▼ 中国市場での新用途開発

採用実例：燃料漏れ検知モジュール

⇒ 2020年 中国政府規制で内燃機関車に燃料漏れ検知装置搭載義務化

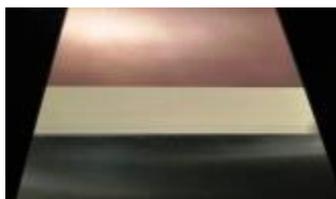


寸法精度が
良いので
金属カーの
インサート不要

シミュレーション技術

■ サーマルマネジメント用途の開発・販売強化

ニーズに応じた放熱性能と多彩な製品形態をラインナップ



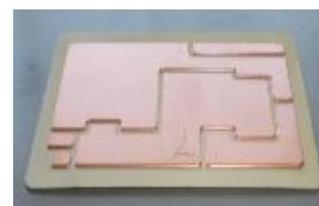
3 W（放熱アルミ基板）

⇒ LED電球



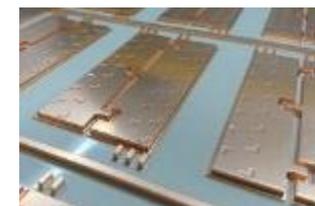
7 W（放熱シート）

⇒ 自動車ヘッドライト



1 2 W（放熱厚銅基板）

⇒ インバータ



1 8 W材（開発中）

⇒ パワーカード（車載）

機能性フィルムの拡充

医薬品

- ▼ジェネリック向け伸長 ⇒ 高品質と安定供給：国内シェア70%超へ
- ・オープンラボ・プライベートセミナー実施 ⇒ パッケージ・ソリューション・ギャラリー設置 (2021年)



P-プラス・食品

- ▼フードロス削減ビジネスの領域拡大⇒青果物・加工食品＋精肉
- ・スキンパック包装の拡大、P-プラス機能性フィルム(防カビ・抗菌フィルム)の開発
- ▼環境関連包装材料の市場創出⇒薄肉高剛性タイプ、バイオ原料入り、リサイクルPET入り



スキンパック



防カビフィルム
(シャインマスク)

産業用

- ▼中国市場での半導体・電子部品向け拡大⇒中国・南通工場からの「地産地消」
- ・中国OSAT向けカバーテープ拡販 (熱安定性良好、貼付防止タイプ開発)
- ▼先端用途材の拡大
- ・ダイシングフィルム⇒C I S用(帯電防止、屑低付着)、FOWLPL用(粘着性・剥離性両立)



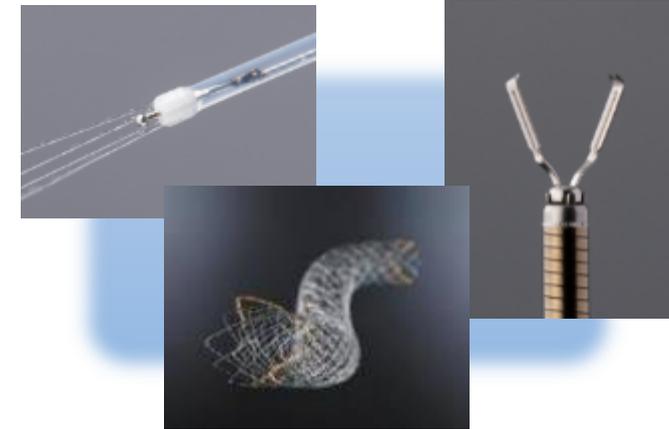
ダイシングフィルム

高付加価値領域のボリューム拡大

【ヘルスケア (医療機器)】

- ▼成長領域：低侵襲治療分野への展開 (マイクロカテーテル、ステント)
- ▼中国拠点の薬事承認取得による中国市場の拡大
- ▼診断薬事業強化 (S B バイオサイエンス)

内視鏡処置具



【産業機能性材料 (プレート・デコラ)】

- ▼光学制御技術を武器に差別化、高採算品へのシフト(車載、アイウェア等)
- ▼不燃メラミン化粧シート「イノベア」：ロール品上市し適用範囲拡大

軽量・高断熱・耐火
ルーフィングユニット

スマイルFDN®

【シート防水】

- ▼屋根市場への進出⇒新開発・簡易施工法による工期短縮と施工の品質安定
- ▼ボリュームゾーンへ積極展開 (工場、倉庫、マンション、リフォーム等)

